



フォトレポート 1

1・4・10 若龍を担ぐ中高生たち 2・3・7 心地よい音楽と軽快なダンスでステージを盛り上げる 5・8 子白龍を担ぐ小学生たち 6・9 雄雌2体が会場内で巨体をくねらせながら豪快に疾走し、観客を魅了した

最後を飾ったのは、約3千発の花火。特別企画「私の花火」では、お祝いや感謝の思いを乗せて、鮮やかな花火が打ち上がりました。

ステージではダンスや楽団による演奏の他、書道や太鼓、バントントワーリングなど、さまざまなパフォーマンスを披露。今年は会場でも演舞やイルミネーションが行われ、2会場で盛り上がりました。

「セイヤ」「セイヤ」の掛け声と共に御所通りを練り歩いた白龍は、ふるさと創生市民広場を舞台に演舞。雄龍や雌龍の他、若龍や子白龍が体をくねらせながら豪快に疾走し、観客を魅了しました。

菊池白龍まつりが10月11日に限府の中心部一帯で開かれ、市内外から多くの人が来場し、賑わいました。



菊池白龍まつり